

～輝きの子育て～

今日の道しるべ



～大切にしたい、心の栄養～



明けましておめでとうございます。

今年も皆様が健康で平和な年でありますことを願い、「今日の道しるべ」
～大切にしたい、心の栄養～を載せさせていただきます。

片野 英子

ハイの一言 明るい家庭

ハイは「ま言」、まごころから発する言葉。だから相手の心に響き、その場の空気を変える。実際に試してみるとよい。夫が妻に。親が子供に。効果満点のはずである。

許す心がしあわせを招く

許すとは自分を許すということである。過ちは誰にでもある。欠点もある。そういう自分を認める、愛する。自分も他人も責めていては幸せになる力は生まれない。

耳で聞くより心で聴こう

ほんとうに聴くとは無心で聴くこと。相手の言葉に耳を傾け、教えようとしたり、批判したりせず、心を無にして聴く。この時、相手も心を開いて飛び込んでくる。

感謝の食卓には 無限の味覚がある

テレビを見ながら、新聞を読みながらは言語道断！会話のない食事ほど味気ないものはない。朝に気合いをこめて、夜は感謝でくくる、そんな食卓になればいい。

真の楽しみは仕事にある

旅行したり食事をしたり……誰にもひそかな楽しみがある。それはそれでいい。だが、働きを通して得る楽しみにはやはり適わない。それこそは生きる醍醐味だから。

小さな奉仕が

人の価値を大きくする

人の値打ちは地位や権力、学歴、才能、富や血筋なんぞでは決らない。真の値打ちは人間の質だ。たとえささやかでも人の喜びに身を尽くす。そんな人をめざしたい。

志は高く頭は低く

稔るほど頭を垂れる稲穂かなというではないか。中味が空っぽな奴ほど偉そうにする。間違えてはいけない、高くするのは頭ではない、人間としての誇り・志操である。

「社団法人 倫理研究所」より

